
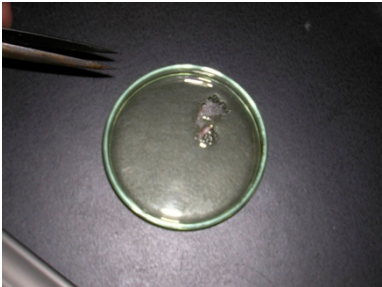
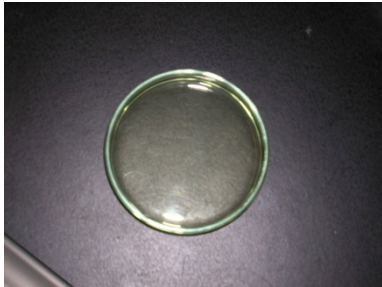


整理番号	HT30111	分野	化学・工学	キーワード	酸化分解性ポリマー
------	---------	----	-------	-------	-----------

研究機関名	神奈川大学				
プログラム名	キッチンハイターで分解できるプラスチック ～酸化分解性ポリマーを作って分解してみよう～				
先生(代表者)	木原 伸浩(きはら のぶひろ) 理学部化学科・教授				
自己紹介	<p>化学って面白いんですよ。</p> <p>私たちの身の周りのモノは全部物質できています。化学というのは物質を扱う学問ですから、私たちの身の周りのモノは何でも化学の対象です。しかも、今までにはなかった物質を作ることだってできます。アレってどうやって作るんだろう、とか、こんな物質だったらもっと凄くできそうだな、とか。まあ、分子の工作ですね。皆さんにも、いろんなモノに触れてもらって、化学が好きになってほしいなあ。</p> <p>http://professor.kanagawa-u.ac.jp/sci/chemistry/prof02.html (神奈川大学)</p>				 <p>普段は少し 違います</p>
開催日時・募集対象	平成 30 年 7 月 15 日(日)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	40 名
集合場所・時間	神奈川大学湘南ひらつかキャンパス 6 号館		(集合時間)	10 時 30 分	
開催会場	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 住所: 〒259-1293 平塚市土屋2946 アクセスマップ URL: http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/shonan_hiratsuka/				
内 容					
<p>プラスチックのリサイクル、していますか？ リサイクルされたプラスチックは、大変な手間をかけて再生されています。もしプラスチックが簡単に分解してくれるなら、捨てるのもリサイクルも簡単なのに...</p> <p>このプログラムでは、「キッチンハイター」をかけるだけで完全に分解してしまう、最新のプラスチックを紹介します。どうして簡単に分解するのか、そのトリックを講義で学んだ後、実際にそのプラスチックを作ってみましょう。そして、そのプラスチックから丈夫なフィルムを作り、さらに、そのフィルムを「キッチンハイター」で分解させてみます。丈夫なプラスチックなのにあっという間に分解してしまいます。</p>					
 <p>分解前のプラスチックフィルム (厚さ 30 ミクロン)</p>		 <p>分解中の様子</p>		 <p>5 分後</p>	
シャーレの中にはキッチンハイターが入れてある		泡を出しながら分解していく 赤い色がついているのは、分解中の物質の色		分解は完了していて、何も残っていない	
スケジュール				持ち物	

10:30-11:00 受付(湘南ひらつかキャンパス 6号館)	筆記用具・ノート
11:00-11:15 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	
11:15-12:00 講義「酸化分解性ポリマー:自在に分解できるプラスチック」	特記事項
12:00-13:00 昼食	実験をしますので、髪が長い場合にはまとめ、また、ハイヒールやサンダルは危険ですので、スニーカーなどの動きやすい靴でお出てください。マニキュアなどは剥げる可能性があります。白衣をお渡しして着ていただきますが、念のために汚れても大丈夫な格好でお出てください。
13:00-14:00 実験①:「酸化分解性ポリマーの合成」	
14:00-14:40 休憩・クッキータイム	
14:40-15:40 実験②:「酸化分解性ポリマーの成型と分解」	
15:40-16:00 修了式(アンケート記入・未来博士号授与)	
16:00 終了・解散	

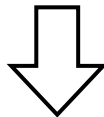
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名 :	神奈川大学 平塚研究支援課／有馬 央
住 所 :	〒259-1293 平塚市土屋 2946
TEL 番号 :	0463-59-4111 (内線 3022)
FAX 番号 :	0463-58-9688
E - m a i l :	hiraken-soudan@kanagawa-u.ac.jp
申込締切日 :	平成30年7月 2日(月)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月5日(木)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
木原 伸浩	H23-25	基盤研究(C)	23550141	酸化分解性ポリマー材料の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。